

質問
抗がん剤治療をしており、手がしびれて物が持ちづらく今までの仕事を続けられそうにありません。退職も考えていることを担当医に相談するとがん相談支援センターを案内されました。がん相談支援センターでは、どんな支援が受けられますか。

治療と仕事の両立



秋月 佐代
徳島大学病院
社会福祉士

回答 がん治療中の副作用

で、日常生活に支障が出て、つらい日々を過ごしているようです。副作用によるつらい思いにどう対処するかなどの対応方法は、担当医や看護師のほか、がん相談支援センターで相談できます。

がん相談支援センターは、徳島県内では徳島大学病院、県立中央病院、徳島市民病院、徳島赤十字病院、県立三好病院の5カ所にあります。

多くの患者が、家庭や育児、介護や治療などさまざまなこと、仕事を工夫しながら両立しています。両立による身体的・精神的負担は、数値で表すことができません。患者によって負担内容も異なるため、「なぜ私だけ」と焦ったり、不安になったり、全てが嫌になることもあると思います。家族や職場の人に相

話を聞き一緒に考える



談できない場合は一人で抱え込まず、がん相談支援センターへぜひ相談してください。看護師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーが話を聞いて、一緒に考える手伝いをしています。

相談者のように、仕事に支障が出て職場に迷惑を掛けるなら退職を考



イラスト・伊藤 司郎

支援センターが手伝い

がん相談支援センターの相談は基本的に無料です。それでも、担当医が職場に対して療養・就労両立支援について文書で指導する場合は一部費用が掛かることがあります。その際は事前に説明します。

徳島大学病院は、両立支援コーディネーターのほか、社会保険労務士やハローワークからの出張就労相談も定期的に開催しています。治療と仕事の両立について迷った時は、今後の人生の重要な決断の前に、がん相談支援センターを気軽に活用してください。

(第4土曜掲載)

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
(電088(634)6442)
(平日午前8時半から午後5時まで)へ。

